

病理総論 2 2004 年 1 月 18 日 (火) 担当: 深山

傷害と組織反応, 代謝性疾患

かつて、変性・萎縮・壊死は退行性病変、肥大・増殖・再生 / 修復は進行性病変の名称で整理

1. 組織としての反応

1) 変性

壊死・萎縮とは異なった、形態学的に特徴のある変化の総称

硝子様変性 / 硝子滴変性 / フィブリノイド変性 (壊死)

2) 壊死

凝固壊死 / 乾酪壊死 / 融解壊死

壊疽: 乾性壊疽 / 湿性壊疽 / ガス壊疽

3) 萎縮

仮性肥大 / 褐色萎縮 (リポフスチン)

4) 肥大

生理的肥大 / 労作性肥大 / 代償性肥大

病的肥大 / 高血圧負荷によって生じる心肥大 / ホルモン性肥大 / 慢性刺激

5) 増殖・分化

細胞周期 G1 S (DNA 複製) G2 M (分裂)

化生 (metaplasia)

異形成 (dysplasia)

6) 再生

不完全 (病的) 再生

7) 肉芽組織と器質化

創傷

肉芽組織

器質化

2. 特徴的な組織変化を示す代謝障害

1) 脂肪肝

脂肪の肝への動員、貯蔵、分泌の過程の障害・バランスの異常

過栄養性脂肪肝 / 非アルコール性脂肪性肝炎

2) 痛風

3) アミロイドーシス (シート蛋白症)

4) ヘモジデローシスとヘモクロマトーシス

5) 黄疸

6) 病的石灰化

異栄養性石灰化 / 転移性石灰化

細胞傷害、細胞小器官の病理

細胞レベルでの障害の形態像，細胞小器官の障害に基づく疾患

1．細胞傷害と反応

細胞傷害をきたす因子と機序

虚血 / 薬物

フリーラジカル / 細胞膜傷害

細胞障害の形態変化

急性細胞傷害 / 腫大 / 脂肪化 (変性, 虎斑心 tiger spotted heart) / 壊死・アポトーシス

慢性細胞傷害 / 滑面小胞体過形成 (機能亢進性, 機能低下性) / ミトコンドリア /

マロリー体 (アルコール硝子体) / 神経原線維変化

2．細胞小器官の異常と疾患

異常構造から病気を、病気から構造を理解する。

1) ライソソーム病

ライソソーム (水解小体) ライソソームとプロテアソーム

Pompe 病

Gaucher 病

Fabry 病

I-cell 病

2) ペルオキシソーム病

Zellweger 病

副腎脳白質ジストロフィー症

高脂血症の薬物クロフィブレート

3) ミトコンドリア (mitos- 糸, chondros- 顆粒)

ミトコンドリア DNA

ミトコンドリア DNA の異常による遺伝病

Kearns-Sayere 症候群 / MELAS (mitochondrial myopathy, encephalopathy, lactic acidosis, stroke-like episodes)

糖尿病 / 老化, パーキンソン, アルツハイマー

3．細胞接着, その他

1) 細胞間, 細胞基質間接着装置

デスモゾーム / 尋常性天疱瘡 / 落葉状天疱瘡

ヘミデスモゾーム / 類天疱瘡抗原

2) 線毛不動症候群 immotile cilia syndrome

3) 筋ジストロフィーと細胞膜裏打ち構造

4) 嚢胞性線維症 (Cystic fibrosis, CF) とチャネル異常